

5. 志津見ダムの運用方法の補足説明

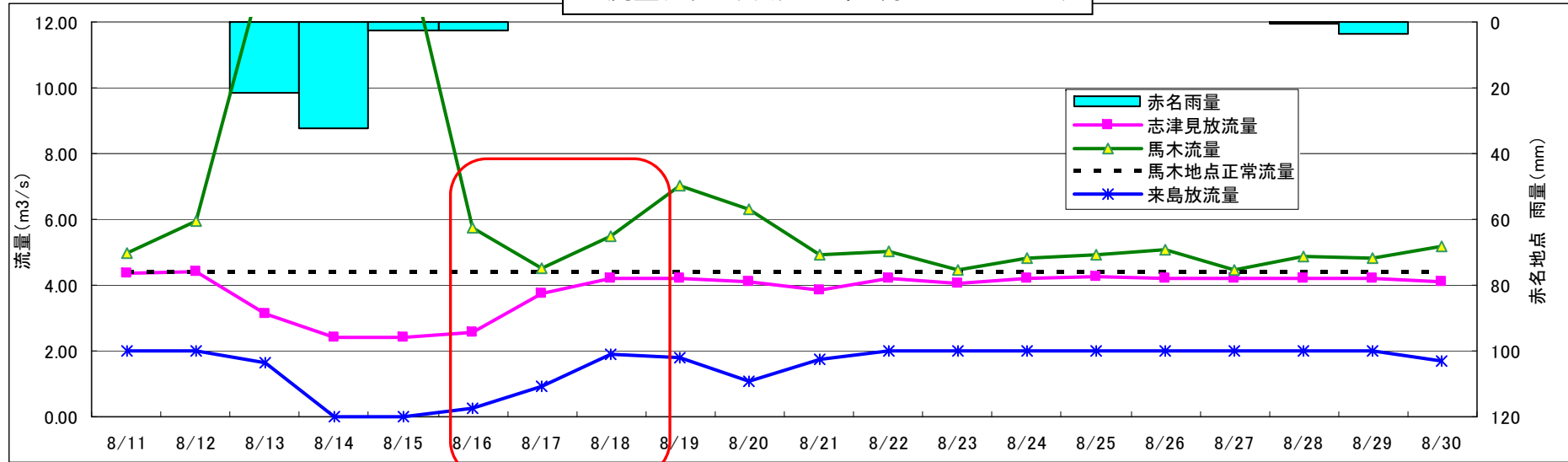
資料2-1
(出雲河川事務所)

○ 志津見ダム運用方法

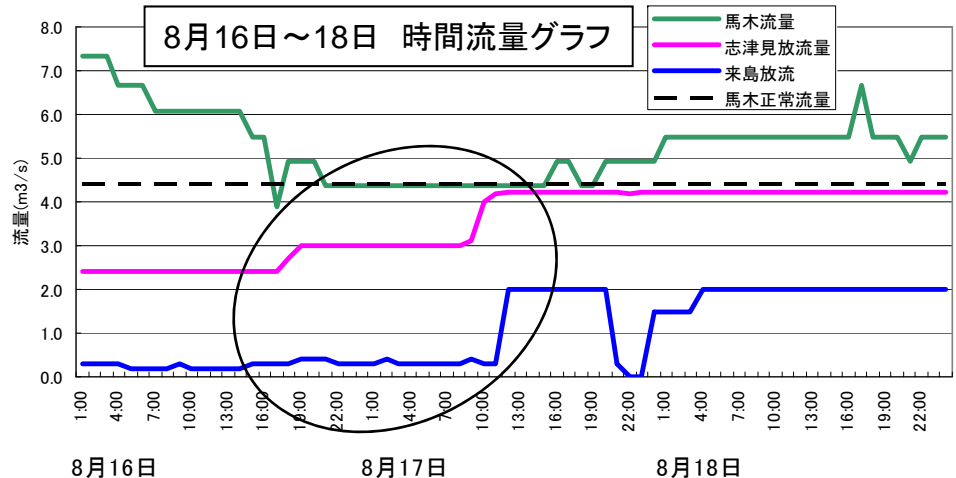
・志津見ダムでは、常時、馬木地点を監視し4.4m³/sを下回る場合、それまでの降雨の状況や流量の増減傾向、流下時間等を総合的に考慮し、追加放流を実施

○ 運用実績の例

日流量グラフ(平成24年8月11日～30日)



8月16日～18日 時間流量グラフ



(当日の状況)

- ・7月12日よりまとまった雨が無く、8月13日からの降雨となった
- ・8月14日の雨による流量増は急速に減少した
- ・志津見ダムでは、馬木地点流量の急速な減少に対応し放流量の増加をおこなった